

(公財) 地震予知総合研究振興会  
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第13回)

概要報告

1. 日時 平成28年3月8日(火) 13:30~16:30

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	産業技術総合研究所		阿部 信太郎
	東京大学地震研究所	教授	岩崎 貴哉
	長岡技術科学大学	教授	大塚 悟
	東北大学	准教授	岡田 知己
	防災科学技術研究所		岡田 義光
	東京大学	名誉教授	金沢 敏彦
	日本大学総合科学研究所	教授	工藤 一嘉
	東京大学地震研究所	准教授	酒井 慎一
	東京大学地震研究所	教授	佐藤 比呂志
	防災科学技術研究所		関口 渉次
	東京大学地震研究所	教授	平田 直
	株式会社ホームサイスマメータ		堀内 茂木
顧問	東北大学	名誉教授	大竹 政和
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議第

- (1) 平成27年度の活動報告
- (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討
- (3) 日本海沿岸中絶リフトの地殻構造と構造形成プロセス

#### 4. 委員会の状況

平成27年度の活動報告として①平成27年度報告書（案）について、②地震活動状況等について、③GPS観測結果等について説明があったのち、観測データの利用法、大地震時の地盤変状等の幅広い分野における最新の調査研究について話題提供があった。

##### (1) 平成27年度の活動報告

平成27年度の活動報告が行われた。

- ① 平成27年度報告書（案）について説明が行われ、委員会でその内容が確認された。
- ② 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、トモグラフィ解析結果と震源分布の関係、気象庁による一元化震源との比較等について意見交換が行われた。特に、震源分布についてはメカニズムとの関連について確認するように意見があった。
- ③ GPS観測結果等について、観測網の維持管理状況、データ処理の状況について説明がなされた。

##### (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討

AN-netにおける観測記録を対象に、地震波干渉法を適用し、長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造について検討した結果について紹介された。委員会では、データ処理方法の影響や、既往の知見との対応関係などについて意見交換が行われた。

##### (3) 日本海沿岸中絶リフトの地殻構造と構造形成プロセス

日本海東縁のテクトニクスに関して最新の知見や調査結果に基づく解釈について紹介された。委員会では、その他の地域の地震発生メカニズムとの比較などについて活発な意見交換が行われた。

以 上